

2023年5月23日

大阪狭山市議会議長  
北 好雄 様

新日本婦人の会大阪狭山支部  
支部長 結城 芙佐子  
大阪狭山市金剛 2-2-19  
電話 [REDACTED]

## 子どもたちの教育環境の充実及び避難所となる 学校体育館へのエアコン設置を求める要望書

近年、気候変動による局地的豪雨や災害級の猛暑が続くなかで、熱中症による被害が多発しています。文部科学省の2022年9月公立小中学校の普通教室の冷暖房設置率は95.7%、体育館への設置も進み始め15.3%と増えてきています。同意に、災害時の避難所となることから学校体育館へのエアコン設置を求める声は大きくなっています。

国も東日本大震災を教訓として、喫緊の課題である防災・減災対策のための地方単独事業を全国レベルで早急に進めることができるよう「緊急防災・減災事業債」を創設し、事業期間として令和7年度まで継続しています。

今年5月に入って石川県、千葉県、鹿児島県、北海道をはじめ大きな地震が相次ぎ、地震速報を見るにつけ南海トラフ地震が身近に迫っているのではないかと不安でなりません。

発災時に避難所となる学校体育館が安心して過ごせる居場所としての環境確保を図ることは急務です。本市では、備蓄倉庫に大型扇風機・気化式冷風機などを備蓄しており、避難所開設時には連携を図り、各小・中学校が所有している大型サーキュレーター、ミストマシン、スポットクーラーなど活用して暑さ対策を講じてなっています。また、配慮が必要な高齢者、妊婦や乳幼児などの避難者については空調設備の整った校内施設を確保しているとのことですが、しかし、災害はいつ起こるかわからず避難所は一年中を想定したエアコン設備対策が必要です。

藤井寺市では小中学校の体育館すべてにエアコン（スポットバズーカ）設置が完了しています。本市でも、小中学校の部活動などの教育環境の充実及び、避難所となる学校体育館が安心して過ごせる居場所としての環境確保を図る対策として小・中学校体育館へのエアコン設置を強く求めます。

記

1. 子どもたちの教育環境の充実及び、避難所となる学校体育館へのエアコン設置を行ってください。

